

～初夏のやさしい風にゆれる～

シャーレーポピー まもなく 見頃 です

国営ひたち海浜公園の「大草原フラワーガーデン」では、約21万本のシャーレーポピーが5月7日から咲き始め、現在は5分咲きとなっています。今年の見頃時期は平年並みで、5月19日に見頃（7分咲き）を迎え、見頃は5月31日頃まで続くと予想しています。ガーデンでは赤と桃色の絨毯を敷き詰めたような美しい風景と、和紙のように薄い花びらがやさしい初夏の風になびく情景をお楽しみいただけます。



大草原フラワーガーデン 撮影/2023年5月17日

◆和紙のように繊細な花びら

シャーレーポピーはケシ科ケシ属で、ヨーロッパ中部を原産とする一年草です。細い茎の先に和紙のように繊細で、色鮮やかな赤や桃色の花を咲かせます。草丈は60～80cmほどで、毛の生えた蕾は初め下を向いていますが開花直前に上を向き、蕾の先端が2つに割れて直径5～8cmほどの花が咲きます。和名はひなげし、別名はコクリコや虞美人草（ぐびじんそう）、アマポーラが広く知られています。

【シャーレーポピー】

- 見頃時期/5月19日～5月31日頃まで
- 本数/約21万本
- 場所/大草原フラワーガーデン
- 植栽面積/約2,600㎡



和紙のように繊細な花びら
(2023年5月17日撮影)

◆虞美人草の由来

秦の始皇帝亡き後の動乱で、楚の項羽と漢の劉邦が覇権を争い戦いました。楚軍は垓下の戦いで大敗し、漢軍に包囲されて四面楚歌となります。敗北を悟った項羽は寵愛する虞美人との別れを惜しむ歌を詠み、虞美人はその歌に唱和すると自ら命を絶ちました。その後、虞美人を葬った墓に赤く美しい花が咲いたという伝説から、別名を「虞美人草」と呼ぶようになったといわれています。

◆花に囲まれサイクリング

大草原フラワーガーデンは、全長約11kmのサイクリングコースの「びよんびよんサークル」付近に位置する花畑です。シャーレーポピーは、サイクリングコース沿いの両側約200mにわたり植栽されているので、園路からだけではなく、自転車に乗ってやさしい初夏の風を浴びながら、普段とは違う目線でお花を楽しむこともできます。



やさしい初夏の風を浴びながら
(2023年5月17日撮影)

Information

常陸ローズガーデンでは、バラが見頃を迎えています。

公園公式SNSもご覧ください



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 田中・渡邊・田野
TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

<https://hitachikaihin.jp>